

R4年度 事業名	福井鉄道福武線支援事業
R3年度 事業名	福井鉄道福武線支援事業

総合戦略 体系	421	安心で快適に暮らせるまちの創造	幹線交通網の変化を見据えた二次交通網の整備	幹線交通網と二次交通網のネットワークによる地域公共交通網の形成
------------	-----	-----------------	-----------------------	---------------------------------

PLAN (計画)	部署名	総合交通課	開始年度	2008	終了年度	2022
	目的	福井鉄道福武線の運行維持のため、県および沿線3市で行政支援を実施し経営安定化に資する。				
	概要	平成29年度に改定を行った福井鉄道交通圏地域公共交通網形成計画に基づき、福井鉄道に対し平成30年度～令和4年度までの5年間で国・県が22.4億円、沿線3市で7.5億円の行政支援を行う。このうち沿線3市の助成は運行維持修繕費に当てられる。また、行政と沿線住民、市民団体が連携して地域の鉄道の利用促進を図るため、「福井鉄道福武線活性化連携協議会」での主要施策の進捗状況の確認や「福井鉄道福武線利用促進鯖江市民会議」の活動への支援を行う。				
	コロナ対応の取組	令和2年度に、新型コロナウイルス感染症の影響が続く状況でも、感染拡大防止策を講じながら安定した鉄道運行を維持し、市民生活および経済活動を支えていくため、運行経費の一部とコロナ収束後の公共交通機関における旅行者の受入環境整備を支援することを目的とし12,168千円の緊急支援を実施。令和3年度には、引き続き安定運行に向けて、福井鉄道福武線の車両の検査費および修繕費を支援することを目的として9,720千円と前年度からの受入環境整備支援の繰越金として4,320千円の緊急支援を実施。令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、収益が落ち込んでいる福井鉄道に対し、安全で安心な運行体制の維持を図るため、県と沿線市町が協力し、運行維持に必要な経費について支援することを目的とし7,468千円の緊急支援を実施。				
法令等 根拠		実施 形態	内容	運行維持費補助金 48,600千円 利用促進鯖江市民会議補助金 180千円 福井鉄道福武線活性化連携協議会負担金 1,550千円		
現在	補助金等交付					

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
鯖江市内6駅利用者数		人	目標値	520,000	520,000	500,000	500,000	500,000
			実績値	463,782	372,949	407,237		
計算 根拠			達成率	89.2	71.7	81.4		
			実数値					
		ランク		B	C	B		
前年度 ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルス感染症拡大による影響							

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	109,550	49,550	49,550	49,530	50,330		事業タイ	単独事業
	決算額	109,550	49,550	49,550	49,510			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	8	603	福井鉄道福武線支援事業費	50,330	50,330	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	50,330

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	9
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒	維持
取組内容	新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、福井鉄道交通圏地域公共交通網形成計画に基づき、サポート団体、県、沿線市連携しながら、引き続き利用促進や財政支援を行っていく。また、平成30年度~令和4年度までの5年間の福井鉄道交通圏地域公共交通網形成計画が令和4年度で最終年度となることから、次期支援スキームについて、県、沿線3市で協議していく。	
来年度へ向けて	R3年度の実績	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、鯖江市内6駅の利用者数は令和2年度は令和元年度比約9万人減少したが、令和3年度は令和元年度年度比約5万6千人減まで回復し、福井鉄道福武線全25駅では、令和2年度は令和元年度比約39万8千人減少したが、令和3年度は令和元年度比約23万1千人減まで回復した。 ・福武線年間利用者数 市内6駅合計 福武線全駅合計
	R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続く中で、令和3年度の利用者数は回復傾向となった。令和4年度においても令和3年4月当初から回復傾向にはあるものの依然としてコロナ禍前の令和元年度と比べると、約9割にとどまっており、利用回復には相当の期間が必要と思われる。
	実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	新たな福井鉄道交通圏地域公共交通計画の下で、コロナ禍でも利用者が安心して鉄道を利用できる環境整備も含め、通勤、通学、買い物等、市民の日常生活を支える安心・安全な運行の維持を支援していく。
	R5方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	鯖江公共交通振興会運営補助事業
R3年度 事業名	鯖江公共交通振興会運営補助事業

総合戦略 体系	421	安心で快適に暮らせるまちの創造	幹線交通網の変化を見据えた二次交通網の整備	幹線交通網と二次交通網のネットワークによる地域公共交通網の形成
------------	-----	-----------------	-----------------------	---------------------------------

PLAN (計画)	部署名	総合交通課	開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	鯖江公共交通振興会が実施する事業を通して、JR、福井鉄道、つつじバスなどの公共交通利用促進を図る。				
	概要	鯖江公共交通振興会運営(以下が主な活動内容)のための補助を行う。 ・JR西日本金沢支社への陳情 ・JRおよび福井鉄道利用促進事業の企画・運営 ・福鉄プレミア1日フリー乗車券を提示された方がつつじバス1日無料になる制度の実施				
	コロナ対応の取組	令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大に配慮し、鯖江商工会議所と協議を行った結果、利用促進活動などの積極的実施を控えることとした。その結果、事業費が不要となったため、補助金執行を見送った。 R3年度についても、新型コロナウイルス感染拡大に配慮し補助金執行を見送った。 R4年度についても、新型コロナウイルス感染拡大に配慮し補助金執行を見送った。				
法令等 根拠		実施 形態	内容	補助事業である。		
現在	補助金等交付					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	会員数→振興会事業実施回数 ※～2019年度		回	目標値	135				
				実績値	119				
	計算根拠			達成率	88.1				
				実数値					
振興会事業実施回数 ※2020年度～		回	目標値		3	3	3	3	
			実績値		2	2			
計算根拠			達成率		66.7	66.7			
			実数値						
			ランク	B	C	C			
前年度 ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルス感染症拡大による影響								

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	500	500	500	0	0		事業タイプ	単独事業
	決算額	500	500	0	0	0		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	2	1	8	602	地方鉄道維持費補助金等	6,574	0
	2							
	3							
	4							
5以降								
							合計	0

補助金等	No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
	1		
	2		
	3		
	4		
5以降			
		合計	0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	30

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

行政が実施すべき事業か。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

住民等のニーズは増えているか。  
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)  
 増加する見込み  横ばい  減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
9	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)  
 節減できている  横ばい  増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

市民団体や事業者による業務委託しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

成果は目標を達成できているか。  
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)  
 目標を達成できている  進展している  目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒

取組内容 新型コロナウイルス感染症の影響により、補助金の交付は休止しているが、令和6年春の北陸新幹線敦賀開業を踏まえ、並行在来線や福井鉄道福武線、つつじバスの利用促進を図るため、実施可能な事業を行う協議は継続していく。

来年度へ向けて R3年度実績 R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題  
新型コロナウイルス感染症拡大への対応に配慮しながら、今後の公共交通機関の利用促進活動のあり方について協議していく。

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点  
公共交通振興会の目指す方向性、活動方針、実施事業について協議を行いながら、支援を継続し、公共交通機関の利用促進に力を合わせていく。  
令和6年春には、並行在来線として運行が開始されることから、鯖江駅や北鯖江駅について、コロナ対策や利便性向上に向けた提案等を関係機関に要望を行う。

R5方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	コミュニティバス運行事業
R3年度 事業名	つつじバス運行事業

総合戦略 体系	421	安心で快適に暮らせるまちの創造	幹線交通網の変化を見据えた二次交通網の整備	幹線交通網と二次交通網のネットワークによる地域公共交通網の形成
------------	-----	-----------------	-----------------------	---------------------------------

PLAN (計画)	部署名	総合交通課	開始年度	2010	終了年度	9999
	目的	高齢者、障がい者にもやさしい市民の足を確保する。 北陸新幹線敦賀開業時により幹線交通網が大きく変化するため、幹線交通網と二次交通網のネットワーク化を図り、より利便性の高い公共交通網を形成する。				
	概要	・コミュニティバス「つつじバス」を事業者に委託して運行している。 ・幹線交通網と二次交通網のネットワーク化の推進を図るため、平成27年度から「鯖江市地域公共交通活性化協議会」を設置し、「鯖江市地域公共交通計画」ならびに「鯖江市地域公共交通利便増進実施計画」を令和3年12月に改訂し、「豊かさや安心のある暮らしを支える交通環境」を目指す。【旧計画:平成29年度～令和3年度、新計画:令和4年度～】				
	コロナ対応 の取組	新型コロナウイルス感染症拡大にあっても、すべてのコミバスをダイヤ通りに運行を実施した。運行にあたっては、利用者が安全安心に利用できるよう抗ウイルス対策や消毒液等の設置、利用者への注意喚起のお知らせの掲示などを行った。				
	法令等 根拠	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律 (平成19年法律第59号)	実施 形態	内容	運行主体である市が民間乗合事業者に運行委託している。	
現在	民間等委託(全部)					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	運行便数		便	目標値	21,503	21,503	21,503	24,947	24,947
				実績値	22,131	22,063	21,417		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	利用者数		人	目標値	180,000	180,000	150,000	150,000	155,000
				実績値	137,233	101,181	106,351		
	計算 根拠			達成率	76.2	56.2	70.9		
				実数値					
			ランク		C	C	C		
	前年度 ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルス感染症拡大による影響							

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	118,109	121,098	115,537	115,227	172,219		事業タイ	補助(県)事業
	決算額	116,998	117,228	111,394	112,644			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	8	202	コミュニティバス運行事業費	172,219	172,219	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	172,219

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	市町生活交通維持支援事業費補助金	22,000
2	コミュニティバス利用者負担金	12,000
3	広告料収入	1,000
4	コミュニティバスフィーダー国庫補助金	13,722
5以降		
合計		48,722

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計点数	11
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R4方向性⇒ <b>事務改善</b>
取組内容 令和3年12月に改訂した改正地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく「鯖江市地域公共交通計画」および「鯖江市地域公共交通利便増進実施計画」に基づき、広報PRなど、再編した運行ダイヤを周知していくとともに利用促進活動に努めていく。
来年度へ向けて R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 新型コロナウイルス感染拡大に伴う高齢者の出控え等が続き、対前年度比では回復傾向にあるものの、コロナ禍前の令和元年度と比較すると、約8割の利用者数にとどまった。 ・つつじバス年間利用者数 R元年度 137,233人 R2年度 101,181人
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 コロナ禍により減少した利用者数の回復には、相当の期間が必要と思われる。 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく地域公共交通計画および地域公共交通利便増進実施計画を令和3年度に策定し、大幅なダイヤ改正を令和4年4月1日に実施しており、今後は、出前講座等でダイヤ改正後の市民の意見を聞きながら、更なる改善点を整理していく。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 コミュニティバスに乗っていただくための取り組みを行いながら、利用者の意見の把握、ダイヤ等の改善点の整理を継続していく。
R5方向性⇒ <b>維持</b>
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	自家用有償旅客運送実証事業補助金
R3年度 事業名	自家用有償旅客運送実証事業補助金

総合戦略 体系	421	安心で快適に暮らせるまちの創造	幹線交通網の変化を見据えた二次交通網の整備	幹線交通網と二次交通網のネットワークによる地域公共交通網の形成
------------	-----	-----------------	-----------------------	---------------------------------

PLAN (計画)	部署名	総合交通課	開始年度	2020	終了年度	9999
	目的	河和田地区において、地域交通系実証事業および高齢者生活支援系実証事業について、密接な連携を図りながら、高齢者の移動手段を担う自家用有償旅客運送や高齢者の生活支援を実現、検証する。 河和田地区でいつまでも住み続けられるまち「互助コミュニティ」の構築を目指す。				
	概要	地域交通系実証事業 (河和田地区を発着とする有償ボランティアによる自家用有償旅客運送)				
	コロナ対応 の取組	(R2年度) 特になし (R3年度) ワクチン接種会場までのタクシー利用助成に対して一般社団法人として協力 (R4年度) ワクチン接種会場までのタクシー利用助成に対して一般社団法人として協力				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	補助事業である。	
現在	補助金等交付					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	有償ボランティアドライバー登録数		人	目標値		15	15	15	15
				実績値		-	9		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	タクシー事業稼働回数(1ドライバー1月当たり平均)		回	目標値		15	15	15	15
				実績値		-	0.2		
	計算 根拠			達成率			1.3		
				実数値					
		ランク		-		C			
前年度 ランク B、Cの 理由	タクシー料金の6割という料金設定のため、一人の会員が利用する頻度には限界があると考えられる。利用回数を増加させるには、更なる会員数の拡大が必要であり、ポスターやチラシなどで広報活動は行っているものの、有償運行開始時から会員数がさほど増加していない。 会員数(有償運行開始時:34人→令和4年7月時点:54人)								

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額			6,000	6,000	6,000		事業タイ	交付金事業
	決算額			6,000	6,000			経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	2	1	8	201	公共交通施設管理諸経費	8,098	6,000
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	6,000

補助金等	No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
	1	次世代コミュニティモデル事業補助金(県1/2)	2,000
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	2,000

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

行政が実施すべき事業か。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

住民等のニーズは増えているか。  
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)  
 増加する見込み  横ばい  減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
8	0点~8点	事務改善または廃止・休止	事務改善または廃止・休止
	9点~16点	維持または事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)  
 節減できている  横ばい  増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

市民団体や事業者による業務委託しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

成果は目標を達成できているか。  
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)  
 目標を達成できている  進展している  目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒

取組内容 自家用有償旅客運送の実証運行「ちよいボラ交通」が令和3年5月6日から有償運行が始まり、正式に会員登録およびドライバー募集を始めた。実証運行の最終年度となる今年度は、事業の継続性の判断等を見極めていく。

来年度へ向けて R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題  
市民に対して周知を図るため、広報活動は継続が必要。また、河和田地区内の料金を定額にするなど、料金や運行ルールを検討しながら、事業の採算性・継続性等の検証を行っていく。

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点  
引き続き、広報さばえや河和田公民館等で市民に対しての周知に努め、令和5年度以降の自家用有償旅客運送事業への市の関わり方は、令和4年度に行う実証事業としての検証の結果を踏まえ、決定する。

R5方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由  
自家用有償旅客運送実証事業は、本年度が実証期間としては最終年度となっており、令和5年度以降の市の関わり方は、本年度に行う実証事業としての検証の結果を踏まえ、決定する。

【提案型市民役事業実施】					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名

R5年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒